

種
真
作

行題相良國貞

三拾五編下



國貞画

13
1178
72

十三
輯

白
滝
禪



13
1178
71

上編六十二



十三輯

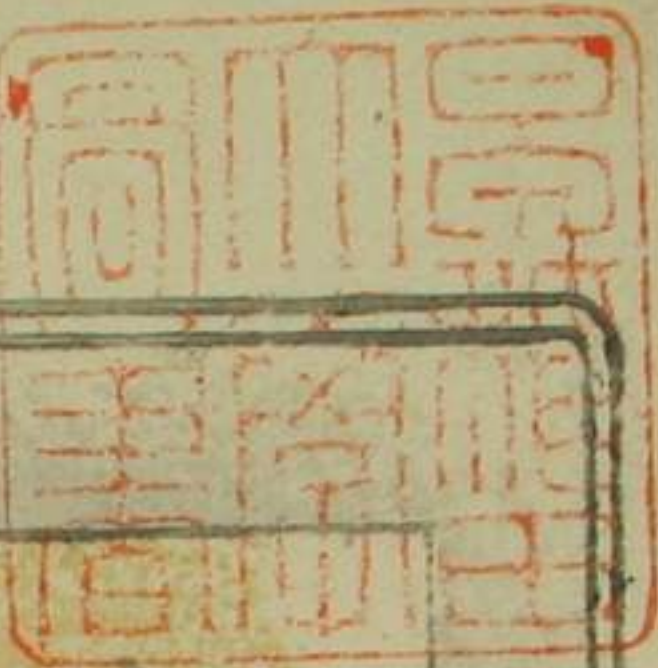
白濁禪



~ 13
1178
71

上編六十二

へ13特
1178
71

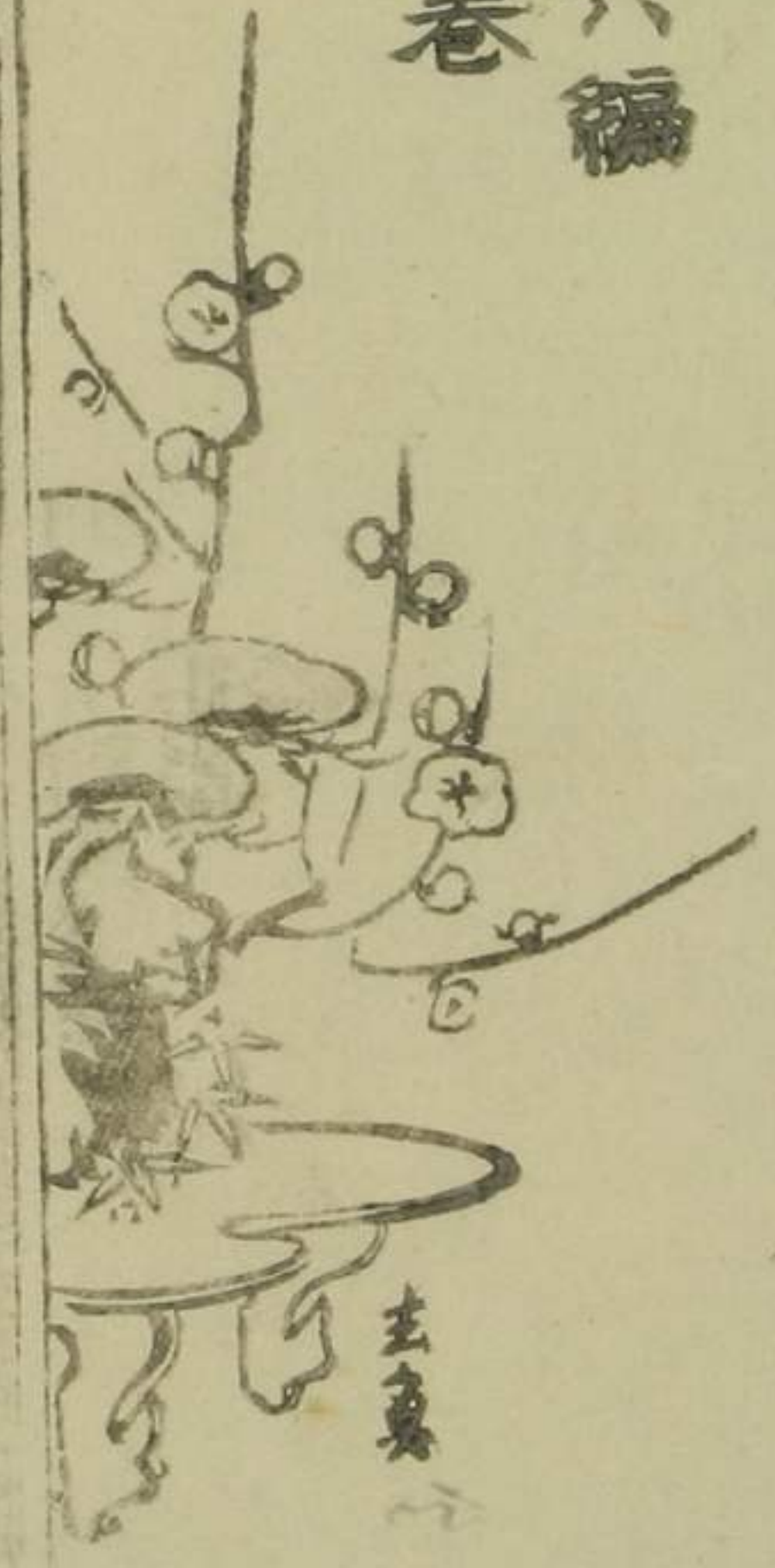


若くは花の葉の若

柳

三十六編

上之巻



去裏



三十一



英浦
秀七

青柳春之助年正



滝川
小文次
秀勝

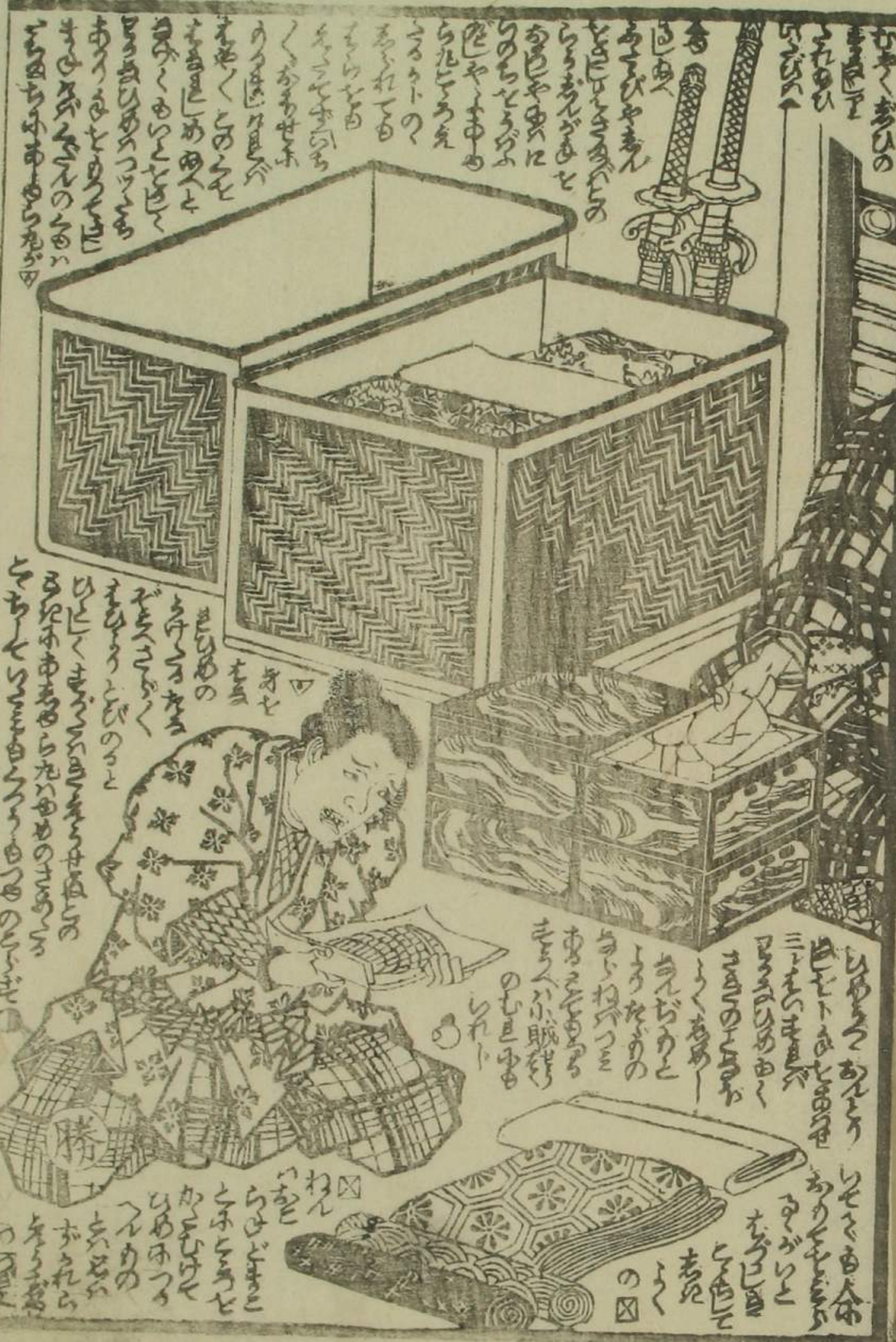
蝶の百学

今戸の故人ハ、何の草紙も下草稿三四度取改て、纒不種本成
 たり。何時も同屋ハ催促ハ疲果一と聞及り、さるるに其筋密ハ文章
 も甚巧なり。写本刻字の技訂も件の如く念入る。誤字も落字も少
 なく、售りても道理有り。予が續貂ハ其表裏性急、筆廻らハ愚作
 版元の見物は、案内のゆゑに拙の考休む。似たりや名言と心得て打付書
 べく、附與てやむ。免角をわい、專一と三十編以下四五帙ハ彫校合も目小
 觸さず、後不てよめ、作者と分らぬ文字のなれば、非すかくても前板の
 二三番ハ配り三千部不過、うとぞある賣込一故人の功、あて弥廣まる廣幸ハ
 幸ハ又類も、形一と思ふ。眞理の考られ、休まず向後ハ丹誠をねん、
 新板ハりより古板をも誤謬を時訂一精製の、さるるを益く沢山
 求む。ふらだ、ふ口狀長月下旬、菊壽堂主人と共に
 文久元年秋日
 柳亭種彦敬白



文久元年秋日

柳亭種彦敬白



又序文
のけく
こつく
これら
むぎとりの
へたうおちのり
てひめらて
まろりぐじき
あそびのせし
後ぎとまろ
のしとりのひ
かじとれど
まじかた
あつため
ま三のちまき
とろくさと
まろりぐじき
こつく

おやうあひの
まじり
これら
むぎとりの
へたうおちのり
てひめらて
まろりぐじき
あそびのせし
後ぎとまろ
のしとりのひ
かじとれど
まじかた
あつため
ま三のちまき
とろくさと
まろりぐじき
こつく



おやうあひの
まじり
これら
むぎとりの
へたうおちのり
てひめらて
まろりぐじき
あそびのせし
後ぎとまろ
のしとりのひ
かじとれど
まじかた
あつため
ま三のちまき
とろくさと
まろりぐじき
こつく

おやうあひの
まじり
これら
むぎとりの
へたうおちのり
てひめらて
まろりぐじき
あそびのせし
後ぎとまろ
のしとりのひ
かじとれど
まじかた
あつため
ま三のちまき
とろくさと
まろりぐじき
こつく





種
真
作

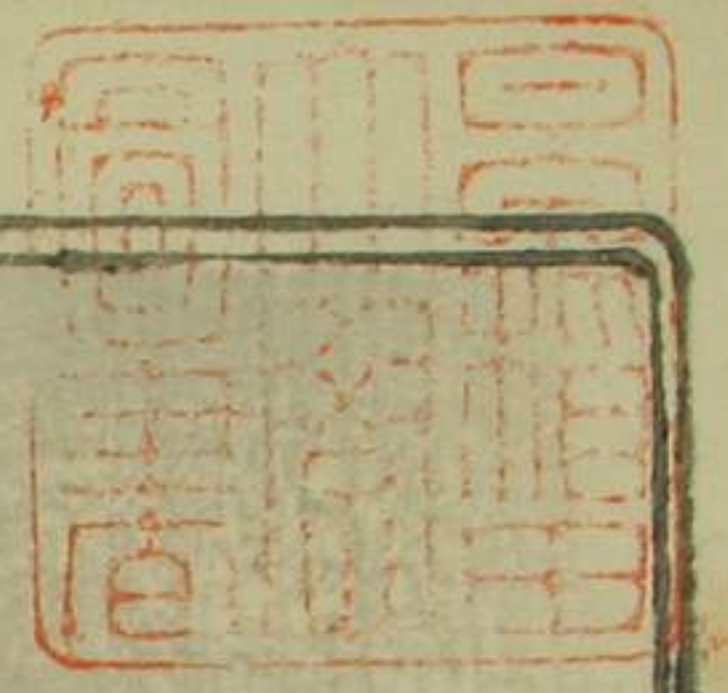


國
真
画

升
題
相
豆
國
包

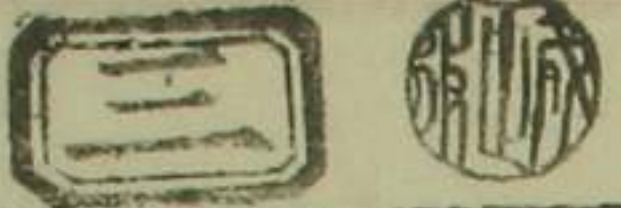
三
拾
六
編
下

13
1178
72



1178
72

白鯨	鯨
三十六	畫



○のめりていふ御歌集
そせきそつろろ小賊
...
そらち小か
らせぬあやういぢ
...
せんあひと
せよ

▽うげいひぢちのけり
...
かきあしむけきき
...
まののきききき
...
せきせきせき
...
あかあかあか
...
あかあかあか
...
あかあかあか
...

Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration of the seated woman. The text includes various characters and symbols such as 〇, 〓, and 〇.



Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration of the standing woman. The text includes various characters and symbols such as 〇, 〓, and 〇.

四面大菩薩



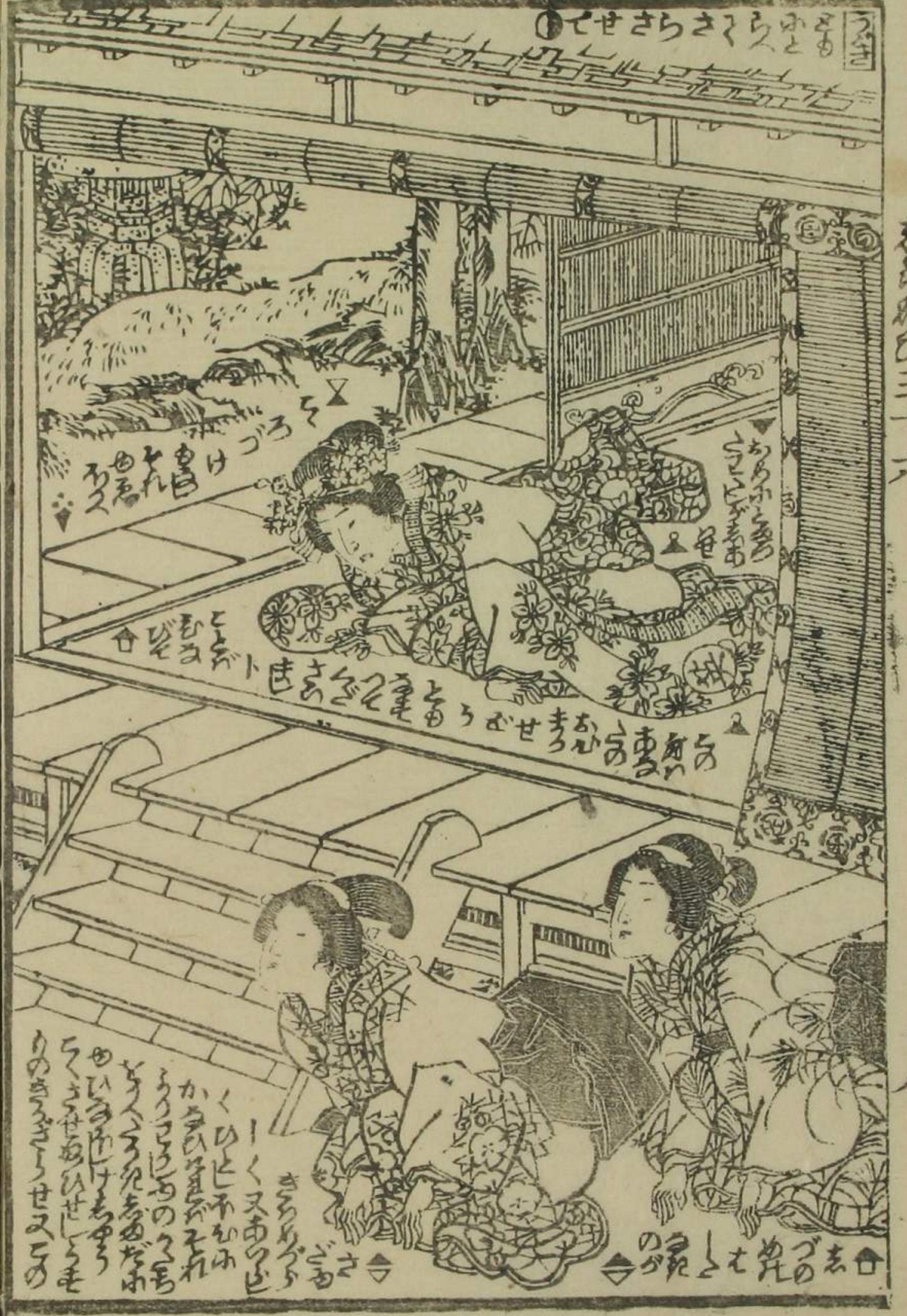


あはれ
おれ
ひせねん
あつひらう
とあつてその
まけ小ぢら
はかきつもの
ういさうま
小あふりホ
るまこと
ふもあつた
てころあふ
やわつてや
あけいふい
ごひあをに
まのりい
そのまけ小
ひらうとあり
のたまごあり
あまのめご他家
あふありつう
まのりいごあり
あふたご京都
あふりあつた
まのりいあつた
まのりいあつた



あはれ
おれ
ひせねん
あつひらう
とあつてその
まけ小ぢら
はかきつもの
ういさうま
小あふりホ
るまこと
ふもあつた
てころあふ
やわつてや
あけいふい
ごひあをに
まのりい
そのまけ小
ひらうとあり
のたまごあり
あまのめご他家
あふありつう
まのりいごあり
あふたご京都
あふりあつた
まのりいあつた
まのりいあつた

あはれ
おれ
ひせねん
あつひらう
とあつてその
まけ小ぢら
はかきつもの
ういさうま
小あふりホ
るまこと
ふもあつた
てころあふ
やわつてや
あけいふい
ごひあをに
まのりい
そのまけ小
ひらうとあり
のたまごあり
あまのめご他家
あふありつう
まのりいごあり
あふたご京都
あふりあつた
まのりいあつた
まのりいあつた



三十一

三十一

